



Yonago East Weekly

創立 / 1968年4月24日 事務所 / 米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 (0859)32 5531
 例会日 / 水曜日12:30 ~ 13:30 例会場 / ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 (0859)33 0911
 会長 / 新納哲雄 幹事 / 小谷維夫 会報 / 永島清孝 提供 / 東京印刷

出席報告

会員数75名 出席数 45名 欠席数 24名
 出席免除会員 6名(荒川(雄)君、村上君、田中君、松本(正)君、新宮君、永島(武)君)

出席率 67.12%
 前回補正出席率 2/27 77.33% 2/20 83.78%

欠席者

足立君、赤木君、藤尾君、深田君、秦野(一)君、細田君、木下君、北沢君、小土井君、小西君、前田君、松本(啓)君、松浪君、永見君、野津君、尾沢君、杉原君、杉本君、戸田君、寺崎君、内田君、吉野君、柳谷君

ビジター

並河勉君(米子)

メーキャップ

宮本君、妹尾君(3/7米子)

今週のお祝い

出席100%祝: 10年伊藤慎哉君

スマイルBOX 16,000円 (累計702,500円)

結婚記念祝: 田村君、妹尾君、出席100%祝: 伊藤君、裁判員制度について弁護士会長としての所見が朝日新聞に載りました: 西村君

会長挨拶

3月1日土曜日に米子松蔭高校の卒業式があり出かけてまいりました。当日はとても寒い日でしたが卒業生の熱気が伝わってきました。永島先生は卒業生を迎える時も送るときもずっと立って手をたたき祝福されているのが印象的でした。女子生徒が、仰げば尊しの歌を歌いながら大きな涙をポロポロと出しておられました。いつまでもこの純粋な心を忘れないで欲しいと思いました。在校生の送辞も卒業生の答辞も女性で、これからは女性が活躍される時代なんだと思いました。思い出に残る卒業式でした。話は変わりますが、月のはじめの例会に米山奨学生のコウチャンフィイさんに来てもらっております。彼女はとても頑張られてこのたび鳥取大学医学部大学院の博士課程を修了されました。会員の皆様と共に喜び申し上げたいと思います。(拍手)米山奨学生として例会に来られるのは今日が最後となります。寂しくなりますがまたチャンスをつくってお会いしたいものです。これからはアメリカで仕事を

されるそうです。どこからこの様な大きな力が出るの
 が不思議に思っております。どうか年に一度くらいは活躍の様子を知らせて欲しいと思います。クリスマス会では素晴らしいフルートの演奏をしていただき有り難うございました。シェイシェイ。

幹事報告

1. 雑誌・広報委員会会議のご案内
 4月5日(土) 13:30 ~ ホテル倉敷
2. 米子RACのフリーマーケット協力について
3. 例会変更通知

境港RC	3月25日(火)	夜間例会
		ビジター受付あり
松江南RC	3月31日(月)	休会
		ビジター受付なし
鳥取RC	3月20日(木)	休会
		ビジター受付なし



プログラム



「ロータリーの友紹介」

雑誌委員 小椋理佳君

雑誌表紙の裏に全国のロータリークラブの例会場の書いてある用紙が閉じてありますのではずして分かるところにでも貼って置いてください。

タテ組 P1、RI会長メッセージ-----ロータリーは成長を続けているからこそ、奉仕活動を続けられるのです。

P4、ロータリーの基本的なことが説明してあります。

P5より、識字率向上月間として各ロータリークラブの活動が紹介してあります。

P13より、各地区のローターアクトの活動が紹介してあります。我が2690地区はP14に記事があります。

P18より、次期RI会長の李東建氏に聞くとして紹介してあります。なかで、ポリオとの闘いを続け、子供の死亡率を低下させる活動にスポットを当てようと計画しています。

P22では「夢をかたちに」とテーマを発表しています。

P32より、よねやまの歴史をたずねて

ヨコ組 P2より、大山のぶ代さんの2500地区大会記念講演「たかが水、されど水」

P7より、出席率100パーセントを続ける八戸東ロータリークラブの紹介

P16、会員増強よりも職業倫理

P19、101歳で現役バリバリの会員紹介



「ありがとう」

米山記念奨学生 郭 權慧 氏

このステージに立つのは今日で3回目ですが、これが最後です。2年間はとても短いものですが、私はいろいろなことを体験しました。これは全てロータリーの皆さんのおかげです。皆さんは米子の私の家族です。皆さんへの感謝は言葉では言い尽くせません。皆さんの暖かさとお親切を私は一生忘れません。今週金曜日に卒業式があり医学博士号を修了する予定です。この4月よりアメリカのアトランタにあるエモリ大学で働く予定です。私は眼科の研究を続けます。私の最終目標は、臨床と研究をこなす眼科医になることです。アメリカに行けるチャンスは日本に来たときと同じくらい貴重です。なぜならプロの道だけでなく社会文化も含め世界を見る機会を得たからです。私の経験から大事なことに気が付きました。歴史や文化が異なっても医学はいつも同じ言葉です。世界中すべての人々に医学は必要で例外はありません。医師として貴重なアドバイスを下さったメンバーに感謝します。私はこの仕事を専門として選んだ初めての情熱と純粋な目的をずっと覚えているでしょう。この2年間本当にお世話になりました。私は次の旅行にわくわくしていますが、同時に別れをととても寂しく感じます。近況情報を続けたいと思います。そしていつまでもロータリーの一員だと思っています。皆さんお元気でお過ごし下さい。再会を楽しみたいです。本当に有り難うございました。



《 米山記念奨学生 郭權慧さん記念撮影 》

米山記念奨学生スポンサークラブ

2006年4月～2008年3月

次回プログラム

3月12日 「私の職業」

山中省吾君、豊嶋文章君 2月27日

19日 「ソルトレークの思い出」

宮岡博就君

3月26日 「ガバナー補佐報告」

第2グループガバナー補佐 宮本守 君

4月2日 「ロータリーの友紹介」 雑誌委員

「市制報告について」 尾沢三夫君